KCI

The Kyoto Costume Institute

2023年度 事業報告書

自　2023年 4月　1日
至　2024年 3月 31日

公益財団法人 京都服飾文化研究財団
The Kyoto Costume Institute

■目次

KCI
The
Kyoto
Costume
Institute

1. 2023年度 活動方針

2. 事業報告

3. 処務の概要

4. その他

1. 2023年度 活動方針

KCI The Kyoto Costume Institute

■運営体制

①デジタル技術を活用した発信力の強化及び対外的な認知促進

②2024年特別展での入場者拡大・協賛企業獲得や基本財産の運用見直しなど収益面の強化

③創設50周年（2028年）を見据えた学芸員及び保存修復技術者の育成

■収集と保存・研究

①2024年特別展及び国内外美術館との合同企画展開催のための調査・研究

②中長期事業計画立案のための調査・研究

③研究テーマ（2024年度特別展及び合同展）に絞り込んだ作品収集

④優先度の高い収蔵品に対する補修業務の強化

⑤収蔵庫内環境の安定的維持のための対応

■公開

①内外の美術館と合同企画した展覧会の開催

②ホームページなどでデジタル技術を活用した収蔵品及び研究成果の公開事業の推進

2. 事業報告

KCI The Kyoto Costume Institute

■出展協力

①「モダン・タイムス・イン・パリ　1925　機械時代のアートとデザイン」展

会場：ポーラ美術館

会期：2023年12月16日（土）～2024年5月19日（日）

主催：公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館

貸出：ファッション・プレート、写真、書籍、等　計6点

■KCIギャラリーにおける収蔵品紹介

①「名前のない服 ― ヘルムート・ラング寄贈品より」

会期：2023年 1月30日（月）～ 4月28日（金）

展示：2000年代のヘルムート・ラングの衣装作品　計21点

入場者：466人

②「モデリング ― かたちをつくる」

会期：2023年 6月 5日（月）～ 8月18日（金）

展示：衣服の型にまつわる収蔵品　計13点

入場者：285人

③「裾引くトレーン ― 19世紀後半のドレス」

会期：2023年 9月25日（月）～12月22日（金）

展示：19世紀後半のトレーン付きのドレス　計12点

入場者：895人

④「フラワー・パワー：時代を彩る花模様とファッション」

会期：2024年 1月29日（月）～ 4月26日（金）

展示：各時代の花柄の衣装とテキスタイル　計17点

入場者：680人

2. 事業報告

KCI The Kyoto Costume Institute

■デジタル技術を活用した収蔵品及び研究成果の更新および増補

①KCIホームページでの公開情報の更新および増補

「iF DESIGN AWARD 2024」受賞（Communication部門　Websiteカテゴリー）

iF Designが主宰する世界三大デザイン賞のひとつ。毎年、世界から数千人のデザイナー、建築家、企業や団体がエントリー

②収蔵品データベースにおける収蔵品情報の整備

将来的な公開を見据えたサーバのクラウド化とデータベースの移行

③インスタグラム等、SNSを用いた活動や収蔵品に関する情報発信

・「LOVEファッション展準備の舞台裏」公開

・ラーニングプログラム（美術館体験と日常を繋げる）の取組み

インスタグラムでギャラリー展の「キュレーターズトーク」公開（日本語・英語の2ヵ国語配信）

・インスタライブの開始

2. 事業報告

KCI The Kyoto Costume Institute

■収集

①研究・公開に必要な衣服・装身具等の収集

寄贈　35点

・1850年代以降のバック類　30点／水島納子氏より

・ポール・スミス 男性服 2点／株式会社ジョイックスコーポレーションより、他

購入　12点

・ソニア・ドローネー　テキスタイル　1921-26年　1点

・ジャック・エイム　スーツ　1940年代　1点

・ボッテガ・ヴェネタ コート　2021年秋　1点、他

〈累計点数〉 13,415点

（衣服類 5,831点、下着類 2,317点、アクセサリー類 4,199点、その他 1,068点）

②図書・文献・版画等、服飾文化とその社会背景の研究に必要な資料の収集

寄贈　63点

購入　0点

〈累計点数〉 17,961点

■保存・補修

①収蔵庫内環境の安定的維持

中性紙ボード製収納箱の製作　12箱

②新規収集品・展示収蔵品のコンディション記録、及び 防虫・防カビ対策

展覧会出展品のコンディションチェック　172点

目視、バキューム処理　114点

脱酸素処理　衣装作品　48点

図書作品　347点

③収蔵品の補修　35点

④収蔵品の記録用写真撮影

写真家による撮影　112点

内部スタッフによる撮影　8点

KCI The Kyoto Costume Institute

■調査・研究活動

①科研費（日本学術振興会科学研究費助成事業）

・「19世紀後半から20世紀初頭における日仏製の絹織物品についての基礎研究」／周防珠実

基盤研究C（2021～2024年度）

近代日本から西洋向けに輸出された染織品とその取引先の実態を解明し、日本製及びリヨン製の染織品の意匠における相互影響について後に論証するための基礎研究資料を取りまとめる。

・「ミュージアムにおけるファッション展の日本的展開に関する総合研究」／五十棲亘（研究分担者）

基盤研究B（2023～2025年度）

20世紀後半の日本のミュージアムにおいて、西洋の「ファッション展」がいかに移入され、日本独自のファッション展を成立・発展させることになったのかを考察し、ファッション展が現代社会にもたらした芸術的価値の変容について明らかにする。

・「ファッションスタディーズの樹立に向けた日本的課題解決のための挑戦的研究」／五十棲亘（研究分担者）

挑戦的研究（開拓）（2023～2027年度）

日本におけるファッションスタディーズの樹立を目指し、制度的要因、洋服受容に基づく歴史的要因、衣服着用をめぐるジェンダー的要因といった観点からファッションに関する教育研究の歴史的系譜と理論の体系化を試みる。

2. 事業報告

KCI The Kyoto Costume Institute

■調査・研究活動

②2024年特別展の出展候補品に関する調査・研究

・収蔵品の動物素材の同定

鳥類の羽根：髙橋 雅雄氏（岩手県立博物館　専門学芸調査員）

毛皮：松田一希氏（京都大学　教授）、木下こづえ氏（京都大学　准教授）、他

■教育・育成

①大学等における講義

・同志社大学 「デザイン理論Ⅱ」

・嵯峨美術大学 「ファッションデザイン論」

・お茶の水女子大学 「服飾文化概論」

・京都精華大学 「ファッション史」

・京都芸術大学 「空間演出デザイン概論Ⅱ・Ⅲ」

・上田安子服飾専門学校 「下着の歴史」

②シンポジウム・講演・研究会等への参加

・京都市生涯学習センター主催　講演「世界を変えたファッション～変わりゆく美意識～」／筒井直子

・被服心理学部会主催　公開夏季セミナー「衣装展での着せ付けと修復事例紹介」／上山尚子

2. 事業報告

KCI The Kyoto Costume Institute

■教育・育成

③学芸員資格取得博物館実習

期間：8月21日～8月25日（5日間）　　受講者：公募審査による12名

④キュレーター及びレストアラー（修復技術者）の育成

・国立アートリサーチセンター／東京文化財研究所　保存科学研究センター主催

「文化財修復処置に関するワークショップ ―モジュラー・クリーニング・プログラムの利用について―」／油井薫

・東京文化財研究所　保存科学研究センター　修復材料研究室主催

「文化財修復技術者のための科学知識基礎研修」／寺川茜

・「イヴ・サンローラン展　時を超えるスタイル」展（国立新美術館）における衣装補修及び着せ付け作業協力／寺川茜

■研究誌・広報誌発行

①研究誌『Fashion Talks…』　　1回発刊（11月：15号）

②広報誌『服をめぐる』　　3回発行（4月：22号、8月：23号、2月：24号）

3. 処務の概要

1. 役員等に関する事項

(1) 役員等の異動

2024年3月末現在

役 職	氏 名	
理事長	塚本　能交	(株)ワコールホールディングス 名誉会長
常務理事	西村　猛	(公財)京都服飾文化研究財団
理事	秋田　正紀	(株)松屋 取締役会長兼取締役会議長
理事	五十嵐　耕一	(一財)桐仁会 理事長
理事	千　容子	(一社)茶道裏千家淡交会 理事長
理事	中牟田　健一	共栄興産株式会社 取締役会長
理事	濱本　英輔	元国税庁長官
理事	深井　晃子	(公財)京都服飾文化研究財団 名誉キュレーター
理事	黛　まどか	俳人
理事	吉田　忠嗣	京都織物卸商業組合 副理事長
監事	大林　剛郎	(株)大林組 取締役会長 兼 取締役会議長
監事	白井　弘	公認会計士

（敬称略）

① 黛まどか氏が、2023年6月23日に就任されました。

3. 処務の概要

1. 役員等に関する事項

(1)役員等の異動

2024年3月末現在

役 職	氏 名	
評議員	稲賀　繁美	京都精華大学 国際文化学部 特任教授
評議員	逢坂　恵理子	国立美術館 理事長 ／ 国立新美術館長
評議員	木下　直之	静岡県立美術館 館長
評議員	小池　一子	クリエイティブ・ディレクター ／ 武蔵野美術大学 名誉教授
評議員	建畠　哲	埼玉県立近代美術館 館長
評議員	長谷川　祐子	金沢21世紀美術館 館長
評議員	福永　治	京都国立近代美術館 館長
評議員	宮城　晃	(株)ワコールホールディングス 代表取締役 副社長執行役員
評議員	山田　啓二	(公財)京都文化財団 理事長 ／ 京都府京都文化博物館 館長
評議員	吉田　憲司	国立民族学博物館 館長
評議員	鷲田　清一	大阪大学 元総長 ／ 京都市立芸術大学 前理事長・学長

(敬称略)

① 福永治氏が、2023年6月23日に就任されました。

② 宮城晃氏が、2023年6月23日に就任されました。

③ 山田啓二氏が、2023年6月23日に就任されました。

3. 処務の概要

KCI The Kyoto Costume Institute

2. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催日時	議事事項	会議結果
第37回理事会 2023年6月2日	決議事項 第1号議案　2022年度事業報告書・財務諸表並びに財産目録及び監査報告の承認の件 第2号議案　評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定の件 報告事項 1. ﾀｯｼｪﾝ社「ﾌｧｯｼｮﾝ」誌、印税分割について	承認可決 承認可決
第38回理事会 2023年6月23日	決議事項 執行理事の件 執行理事・西村猛を選任	承認可決
第39回理事会 2024年1月26日 （決議の省略）	決議事項 第1号議案　基本財産取り崩しの承認の件 第2号議案　評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定の件 議題1　基本財産取り崩しの承認の件	承認可決 承認可決
第40回理事会 2024年3月15日	決議事項 第1号議案　2024年度事業計画及び収支予算の承認の件 報告事項 1. 財務状況について 2. 2024年度特別展「LOVE ﾌｧｯｼｮﾝ －私を着がえるとき」について 3. ﾀｯｼｪﾝ社「ﾌｧｯｼｮﾝ」誌、印税分割について	承認可決

3. 処務の概要

KCI The Kyoto Costume Institute

2. 役員会等に関する事項

(2) 評議員会

開催日時	議事事項	会議結果
第15回評議員会 2023年6月23日	決議事項 第1号議案　2022年度事業報告書･財務諸表並びに財産目録及び監査報告の承認の件 第2号議案　理事の選任の件 第3号議案　評議員の選任の件 第4号議案　定款(別表･財産目録)の変更の件 報告事項 1. 2023年度事業計画及び収支予算書 2. 2024年特別展について	承認可決 承認可決 承認可決 承認可決
第16回評議員会 2024年2月28日 （決議の省略）	決議事項 第1号議案　基本財産取り崩しの承認の件	承認可決

3. 処務の概要

KCI The Kyoto Costume Institute

3. 寄附金及び助成金に関する事項

(1) 寄附金

(単位:円)

寄附の目的・使途	寄附者	申込金額	種類	領収金額	受入月
一般正味財産 (公益目的事業及び法人運営費用)	株式会社ワコール	120,000,000	現金	120,000,000	2023年 4月
一般正味財産 (公益目的事業及び法人運営費用)	株式会社ワコール	20,000,000	現金	20,000,000	2023年10月
一般正味財産 (公益目的事業及び法人運営費用)	(匿名)	(非公開)	現金	(非公開)	2023年10月
			合計	140,020,000	

(2) 助成金

(単位:円)

助成金対象事業	助成者	種類	助成金額	内容
科学研究費 (課題番号21K00161)	独立行政法人 日本学術振興会	現金	210,000	間接経費分 譲渡
科学研究費 (課題番号23K17266)	独立行政法人 日本学術振興会	現金	105,000	間接経費分 譲渡
科学研究費 (課題番号23H00577)	独立行政法人 日本学術振興会	現金	180,000	間接経費分 譲渡
		合計	495,000	

KCI
The
Kyoto
Costume
Institute

4. 事業報告の付属明細書

（2023年4月1日から2024年3月31日まで）

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。